

## <トピックス7>

# あいちアール・ブリュット — ゲイジュツのチカラ —

愛知県では、「あいちアール・ブリュット障害者アーツ展」（作品展、舞台・ステージ発表、トークイベント等）の開催など、障害のある方の芸術・文化活動を通じて、障害のある方の社会参加と障害への理解が深まり、障害の有無を越えた交流が広がることを目指しています。

**ART BRUT**  
アール・ブリュットとは  
加工されていない生(き)の芸術、  
伝統や流行・教育などに左右されず  
自身の内側から湧きあがる衝動のま  
まに表現した芸術を示す。障害のある  
人・子ども・素人芸術家らの作  
品を指すため1947年ごろ  
から用いられている。

## 「絵を描くこと」が仕事に

平成28年、障害のある20代の男性2人が、「絵を描くこと」を仕事として、一般企業に就職（在宅勤務）しました。在宅勤務なので、事務所や店舗に出勤するのではなく、自宅で創作活動に取り組まれています。



「女の人」  
小林真由



「水牛バッファローと牛」  
磯崎亮(榊川本第一製作所)

((株)シスムエンジニアリング)



「十二支と動物たち」  
野澤将矢(ネットヨタ中部(株))

会社は、彼らが絵を描くことを応援し、会社の名前をPRしながら作品展などに出展したり、作品が店舗に飾られたりすることで、会社の広報をしています。

この取組は、ハローワークと県、福祉・アートの専門家の連携により実現したもので、全国的にもめずらしいものです。令和4年3月末現在、県内で19名の方が就職されています。

皆さん、就職後は作品の幅や作風が広がったり、創作の時間が長くなったりと、「絵を描くこと」が「仕事」になった自覚をもって、創作に取り組まれています。

あいちアール・ブリュットのゲイジュツのチカラは、福祉や芸術の分野を超えて広がっています。



### ロゴマーク「ゲイジュツのチカラ」

芸術には、作る人・見る人、そして障害のある人・ない人の心を変える大きなチカラがある。そのチカラは、お互いを認め合うボーダーのない社会への推進力になると信じています。